

## 事業環境ランキング向上に再チャレンジ

### ◆「企業が活動しやすい国」の上位入りは達成できず

2020年4月、政府は、「企業が活動しやすい国」の目安として第2次安倍政権発足から掲げてきた「世界銀行の事業環境ランキングで2020年までに先進国（OECD加盟国）3位以内」という成果目標を撤回すると発表した。19年10月に公表された最新順位は18位で達成できるめどが立たなくなったからだ。今後は、「30年までにG20（主要20カ国・地域）で1位」に目標を変更するとしている。

世界銀行は、190カ国・地域のビジネス環境を評価・ランク付けする報告書「ビジネス環境の現状」を03年から毎年公表している。法人設立、建設許可、電力事情、不動産登記、信用供与、少数投資家保護、納税、貿易手続き、契約執行、破綻処理の10分野で手続数や時間、コスト、制度内容を、各国の民間有識者からのアンケート回答を基に評価し、総合・分野別にランク付けしている。

### ◆ランクアップへの取組み第一弾は、法人設立手続きのネット一元化

事業環境ランキングで、日本の低位が顕著なのは法人設立と貿易手続きだ。とくに法人設立については手続きが煩雑とみられておりOECD 30位（190カ国106位）と評価が低い。

そこで政府は20年1月20日から、政府が開設した専用サイト「マイナポータル」で、法人設立手続きを一度で済ませられるサービスを始めた。従来は税務署、労働基準監督署、年金事務所などに窓口が分かれているため、個別に手間がかかっていた。さらに21年2月をメドに法務省が所管する定款認証や法人設立登記も追加し、手続きの一元化を完了する。併せて印鑑の届け出を不要とする法整備もすすめる。コロナ禍で先行きは不透明だが、利用が進めば順位は大幅にあがる見込みだ。

#### 事業環境総合ランキング（OECD上位18カ国）

順位	国名	順位	国名
1	ニュージーランド	10	エストニア
2	デンマーク	11	ラトビア
3	韓国	12	フィンランド
4	米国	13	ドイツ
5	英国	14	カナダ
6	ノルウェー	15	アイルランド
7	スウェーデン	16	アイスランド
8	リトアニア	17	オーストリア
9	オーストラリア	18	日本

日本はOECD（35カ国）18位、190カ国で29位  
出所：THE WORLD BANK “Doing Business 2020”

【秋元真理子】